

前向きな姿勢で挑戦

佐藤渡辺

佐藤渡辺は、東京都港区の本社で第36回業務改善発表会を開いた。9テーマが発表され、ウェブでも配信した。



鎌田修治社長は講評で「労働環境改善で労働時間の短縮に効果があった業務改善報告、DX（デジタルトランスフォーメーション）やICTを活用して生産性向上に寄与した業務改善報告、高評価を得られた官公庁や民間工事など社内での水平展開を目的とする改善点や工夫点といった業務改善報告の発表があった」と振り返った上で、「まずは前向きな姿勢で取り組んでほしい。『失敗を恐れずに挑戦する、成功は挑戦の先にある』との社長メッセージを忘れずに、さまざまなことへのチャレンジが業務改善につながる。今日の発表を水平展開し、各支店だけでなく全社で挑戦することが業務改善の意義だとも感じる」と述べた。写真。

審査の結果、社長賞に関東支店の「勤怠及び休日取得状況の見える化」、優良賞には東北支店の「カエレルとFileforceを活用して家に『帰れる!?!』」、関東支店の「現場におけるBIM／CIMの活用について」、中日本支店の「ブルーバール広場の景観舗装（アラレクリート（石畳調）受注成功事例）」が選ばれた。

